

平成21年度事務事業評価表	担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1222
---------------	----	-------------	-----	------

事務事業名	ため池改修事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	生活排水対策・快適な都市環境づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	5点 概ね達成できた			

事務事業の内容

対象(受益者)	ため池受益者及び地域住民に対して
手 段	環境整備(草刈等)、維持補修及び改修をすることにより
成果、目標	ため池施設の機能を適切な状態で維持し、池周辺の安全対策を図る

成果指標

成果指標名	環境整備率		改修率	
成果指標の説明	環境整備済池数(市+地域住民+自然)/総池数(61) × 100		改修済池数/総池数(61池) × 100	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)	
成果指標	77.05	77.05	77.05	
成果指標	72.13	72.13	72.13	

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
環境整備池数	33池	30池	30池
大規模改修池数	0池	0池	0池
維持補修池数	4池	3池	3池

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.50人	次長 課長級		補佐級	0.25人	係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.40人	次長 課長級		補佐級	0.25人	係長級		一般職	0.15人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	7,340	6,536	6,000
	人件費	3,880	3,125	
	合計	11,220	9,661	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	11,220	9,661	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	農家（受益者）及び担い手が衰退していく現在、ため池の需要も減り地域住民による草刈等の環境整備は期待できなくなっているのが原状である。ため池の老朽化も進み、今後も総代区、地域住民、改良区、と密接な連携を取って事業を進める必要がある。
-------------	----	---

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	市の維持管理体制に加え農家、地域住民、総代区等の各関係者施設の危険箇所、破損箇所を市に通報する体制を整えたことにより、環境整備、施設の延命化に早急な対応ができることとなった。
現在の課題、問題点	本来ため池は、農業用水として利用されるべきであるが、近年釣り目的による外来種を池に放ち釣りをしている者がいる、道路に車を放置、釣り糸等ごみを持ち帰らずに放置していく、地域の人たちの草刈機にまき付く等維持管理に支障をきたしている。又豊川用水の普及、田から果樹畑への転換等で利用の少なくなった池には、芦やホテイアオイ等の水草が繁茂して水の循環が悪くなり水質がさがっている池も多い。
今後の改善計画	農業集落におけるため池の保存のため、本来の農業用ではなく利用目的を変更する時期に来ているのではないかと。災害時の調整池的な利用、地域の親水公園的な利用等にし、土地改良区、地域、ボランティア等による組織を立ち上げ、この活動が自主的に維持補修、施設の保全環境の向上活動に参加し、ため池の保全を図る。